

菌床栽培できのこをつくるホンシメジの野生株を発見

福島県林業研究センター 林産資源部

1 部門名

林業 — 食用キノコ — 育種・選抜

2 担当者名

片野高志

3 要旨

ホンシメジ菌株福島 H106 号（以下 H106）は、福島県のオリジナル品種「ふくふくしめじ」として、簡易ハウス内で自然環境を活かした栽培が行われているが、H106 と収穫期が重複せず、収量が優れた新品種の開発が求められている。今回は、ホンシメジ野生株 9 株を空調下で菌床栽培し、きのこの形成能力を試験した。その結果、新たに 6 つの株できのこの発生が確認された。

- (1) 通常の 1,400ml 栽培ビンより小さい 450ml ビンに広葉樹チップ：押麦：フスマ=10：4：1 の体積比で充填して菌床を製造し、野生株を接種後 120 日間培養したうえで、空調室で発生管理を行った。
- (2) その結果、H106 以外の 6 つの株できのこの発生が確認された（図-1、表-1）。
- (3) 今後は簡易ハウス内の自然環境下での栽培試験等による選抜を行うことを計画している。



図-1 LsH-R501 (左) と H106 (右) の発生状況

表-1 各株の栽培結果

菌株	発生操作から収穫までの日数	菌床の本数(ビン)		発生率 (%)	発生した子実体 [※]		備考
		発生操作	発生		本数 (本)	収量 (g)	
LsH-R501	22~23日	7	7	100	8.4±1.7	54.3±6.2	
LsH-R502	25~26日	8	7	88	8.0±2.2	65.3±4.3	
LsH-R503	24日	7	1	14	9.0	58.5	
LsH-R508	25~27日	7	7	100	7.7±1.8	40.0±3.4	
LsH-R509	21~23日	8	8	100	11.4±2.3	40.3±4.9	
LsH-R510	22~26日	7	7	100	9.7±2.8	38.8±7.1	
H106	22~23日	7	7	100	10.1±1.3	43.4±4.5	対照区

※平均値±標準偏差

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3~7 年度
- (2) 研究課題名 ふくしまほんしめじ栽培技術の開発と優良品種選抜

5 主な参考文献・資料

なし